

アメリカ：コロラド州立大学(CSU)

太田いさ子（千葉県船橋市）
坂上久仁子（千葉県船橋市）

期間：2014年8月28日～10月24日（57日間）

1. フォートコリンズとCSU

25,000人の学生と15,000人の大学関係者を擁するCSUは、さらに15,000人の学生を迎え入れる計画で、ますますの発展が期待されている。

2014年6月からメイン通りを走るバスMAXが運行されたので、交通も便利になった。MAXは10～15分間隔で夕方8時過ぎまで運行されている。

その他のバスは夕方6時頃には終わってしまうのだが、オールドタウンと大学周辺の寄宿舎を回る「グリーンコース」と「ゴールドコース」は、木曜と金曜のみ、朝まで運行している。学生の話では、街に飲みに繰り出して羽目を外しても帰宅できるようにとの配慮からだという。ちなみに学生のバス代金は全部無料だ。

街を縦横に走るトレイル(車が入れない道)では、サイクリングやジョギングなどを楽しむことができる。これももともとは、学生たちが余暇を楽しめるようにとの配慮から整備されたのだそうだ。若いカップルが自転車の後ろに籠をつけて乳幼児を乗せ、サイクリングをしている姿は何とも健全で微笑ましい。



トレイル沿いの小川で遊ぶ家族

2. CSUでのボランティア

ベーケン先生、コリンズ先生、キム先生の3人が、日本語学科を担当している。

私たちは1日4～5時限の授業を分担してボランティアに取り組んだ。

①授業でのボランティア内容

先生たちが上手に私たちを使ってくれるので、質問されたことに答えたり、会話文を読んだり、時には寸劇のお相手をしたりと、楽しかった。

学生は16歳～64歳までと幅がある。アメリカは多民族国家なので、教育機関は生徒が学びたい言語を学ばせる義務があり、自校にその学科がないときは、他校で学ぶことができるそうだ。16歳の高校生が、キム先生のクラスで学んでいた。

また、年金生活者は授業料無料で学べるということで、日本の高校で英語を教えていたことがあるという64歳の女性も、2年生に在籍していた。もちろん既婚の学生もいて、自転車置き場には日本では見かけない、子供を乗せる車をつけて走る自転車もあっておもしろい。



1年生 キム学級



子どもを乗せる自転車。親子サイクリングもこれでOK.

②授業以外の行事

(8月29日)

フォートコリンズに着いたその日の夕方、新1年生を中心にした懇親会「ピザ・パーティー」に誘われた。先生たち、生徒たちとの初顔合わせ。先生たちは気さくで話しやすく、親切。生徒たちの真っ直ぐさ、素直さ、真っ当さにびっくり！斜めに構えたり、気取ったりしたところがなく、すぐに彼らが好きになった。

(9月11日)

15:00~17:00 The Bon Festival

浴衣の着付けと「炭坑節」「東京音頭」などの盆踊りを楽しむ。



(9月16日)

19:00~ **日本のアニメ鑑賞会**

宮崎駿 「風立ちぬ」

(9月20日)

10:00~16:00 **日本語学会セミナー**

(於 デンバー大学)

日本からお呼びした元早稲田大学の教授川口義一先生による日本語教授法の勉強会。

日本語を教える先生たちの学びの場に参加させてもらった。

素晴らしい内容で、目から鱗だった。

(9月27日)

9:00~14:00 **Language Camp**

日本人留学生が主催する、日本語を楽しく学ぶキャンプ。漢字ゲームやひらがなカルタなど、学年によって内容を変え、楽しく日本語を学んでもらおうというもの。

最後は数グループに分かれて、出されたお題を寸劇にして演じ、競い合うゲームで大いに盛り上がっ

た。



Language Camp ランチタイム

(10月5日)

1年生で、みそ汁の作り方を教えて欲しいという生徒がいたので、アパートに招待して、ちらし寿司、みそ汁、サラダ、煮物などを作った。

(10月10日)

15:00~17:00 **Taste of Japan**

日本の食文化の紹介

ベーケン先生のプレゼン（箸の使い方、テーブルマナー、和食器紹介、お弁当文化など）→会食→おかわり→チャレンジコーナー（らっきょ、納豆など）

当日のメニューは、ちらし寿司、いなり寿司、肉じゃが、ひじき煮、みそ汁、フルーツポンチ、麦茶。ダン小学校の生徒も加わり盛況だった。ほとんど全員が完食！



3. 余暇の楽しみ

何といってもサイクリング！私たちは、エリックさんに借りた自転車に乗って、ほとんどのトレイルを走った。

郊外に行けば行くほど、その景色の美しいこと！



ワトソンレイク（後ろの山は、インディアンの聖地）



プーダー川沿いのトレイル

また、シニアセンターや市民プールでの水泳、リンカーンセンターでの観劇、大学芸術学部オルガンホールでの音楽鑑賞なども楽しんだ。

身近に文化的な施設がたくさんあり、街の皆さんは普段着でこれを楽しんでいる。

小旅行

9月の下旬は黄葉が美しい。21日ベーケン先生ご夫妻が、川口義一先生と私たちをエステスパーク・ロッキー国立公園へと連れて行ってくださった。

アスピンの黄葉が美しく、野生のエルフなども見られた。

今年は雨が多かったせいで、黄色いアスピンの葉先がオレンジ色に染まり、特に美しいとのこと。めったにこんな黄葉は見られないということだった。



中央に見えるのがアスペン

また、State Forest State Park Campgroundsでの2泊3日のキャンプも忘れられない。

電気もガスもない丸太小屋で、薪を割り、火をおこし、蝋燭を灯してのキャンプ。朝は朝で、目の前にある湖の朝もやの神秘的な美しさに感動し、夜は降ってくるような大粒の星たちに感謝した。

ここでもアスピンの美しかったこと！



キャンプ場前 朝の湖

4. 最後に

私（太田）は初めてのCSUボランティア活動であったが、ご一緒した坂上さんは2回目で、WSCの活動についても詳しく、大変心強かった。坂上さんとご一緒できなかつたら、こんなに楽しい活動はできなかったと思う。

フォートコリンズに着いた時は真夏の青い空と緑深い街路樹に迎えられ、帰国するときは街中が秋色に染まっていた。

ありがとう！心優しく気さくな街の人たち、大学の皆さん！